

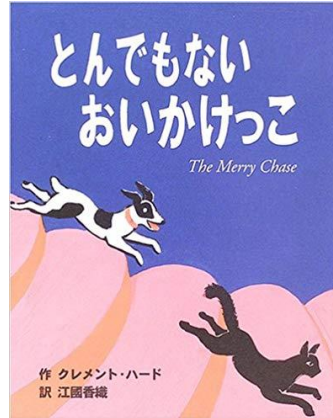
おはなしだより 7月

<年長>

とんでもないおいかけっこ

作・絵：クレメント・ハード
訳：江國 香織
出版社：BL出版

まちかどでであったいぬとねこ。“みやあ”とねこがなくて、“うおふ”といぬがほえて、さあ、とんでもないおいかけっこのはじまりです。まちじゅうをいぬとねこがおいかけっこ。はしごをひっくりかえし、だいどころのテーブルをとびこえ、ガラスをつきやぶり、まちのひとたちをまきこんで、おいかけっこはつづきます…。



もったいないばあさんの てんごく と じごくのはなし

作：真珠 まりこ
出版社：講談社

水をだしっぱなしにしていたり、まだ使える紙をくしゃくしゃぼい、と捨ててしまうと「もったいないこと してないかい？」と、どこからかやってくるもったいないばあさん。
こんどはちょっとこわそうなところにやってきたよ。そこでは、ながいスプーンを使って、我先にとスプーンをのもうとしています。ですが、誰もうまくのめません。そこへもったいないばあさんがやってきて……。

<年中>

おとなりさん

作：きしら まゆこ
絵：高島 純
出版社：BL出版

森のおくに、家が2けんたっています。赤い屋根の家には、にわとりがすんでいます。青い屋根の家には、だれもすんでいません。ある日、外に出たにわとりは、びっくり！ となりに誰か引っ越してきたようです。ところが、おとなりさんは、なかなか姿をあらわさず……。正体のわからないおとなりさんとのすれちがいが楽しい絵本です。



ルラルさんの だいくしごと

作 : いたう ひろし
出版社 : ポプラ社

ルラルさんのだいくしごとのうでまえは、なかなかのものです。やねのしゅうりだって、おてのもの。ところが、おもわぬことがおきてしまい……!?

ルラルさんの絵本の世界には、くすっと笑いをさそうユーモア、ゆったりと流れる時間、わくわくするアイデアやイメージの広がりがあります。ルラルさんといっしょに、日常の中にかくれている楽しさを見つけてみませんか?

<年少>

かあかあもうもう

作 : 丹治 匠
出版社 : こぐま社

「かあ かあ かあ」「もう もう もう」と、それぞれ気持ちよく歌をうたっていたカラスと牛。ところが次第に声のトーンで張り合うケンカになってしまい、いつしかユーモラスな歌合戦に…。カラスと牛の気持ちになって思わず一緒に歌いたくなる、楽しい絵本です。



すずめくん どこで ごはん たべるの?

文・絵 : たしろ ちさと
出版社 : 福音館書店

すずめくんは今日も動物園で動物たちのごはんをつまみ食い。カバのところではサツマイモを、キツネのところでは果物を、ライオンの檻ではお肉をパクッ! キリンといっしょに水を飲み、ゾウのところで砂浴びし、ゴリラのそばでひと休み。でも、うっかり大きなワニに近寄ったら…!? ロシアの詩人、サムイル・マルシャークの詩をもとに、舞台を日本の動物園に置きかえて絵本にしました。動物園を訪れる楽しみが、ひとつふえる絵本です。。